

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	栄養教育論実習Ⅱ					授業形態	実習		
科目コード	303200	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	渡邊 純子							ICT活 用	○
授業概要	<p>2年・3年次の座学で学んだ栄養教育の専門的知識の基本を用い、各対象者への栄養教育マネジメントについて実習し、体得させることを目的とする。</p> <p>特に実習Ⅱでは、栄養教育マネジメントにそって、実習Ⅰで作成した栄養教育全体計画の実施と評価を中心に実習する。</p> <p>前期・後期を通じて栄養教育マネジメントを実際に学べるよう、栄養教育計画に基づいた栄養教育を実施する。</p> <p>評価では栄養教育の情報処理の方法やデータ解析及び評価法について体得できるよう実習を進める。</p>								
関連する科目	<p>調理学・調理学実習、食事計画論・食事計画論実習、栄養教育総論・栄養教育各論Ⅰ・Ⅱ、栄養教育論実習Ⅰを事前に習得して、専門基礎分野・専門分野の総合的な知識・技術習得を目指す。</p>								
授業の進め方 と方法	<p>主体的な取組みを促すため、専用の栄養カウンセリングコーナーなどアクティブラーニングの設備を活用した実習を展開する。</p> <p>常時、グループワーク形式で課題解決に取組み、グループワークにて協議した内容はプレゼンテーションにて報告する。</p> <p>専門技術習得のため、グループ内の課題に対する共有と協働作業が必要なため、できる限り欠席等のないようにすること。</p>								
授業計画 【第1回】	「栄養教育マネジメントにおける栄養教育の実施と評価について」								
授業計画 【第2回】	「栄養情報処理（アセスメントデータの集計）」 アセスメントデータの解析のための方法について学ぶ。								
授業計画 【第3回】	「栄養情報処理（データの集計・グラフ化）」 アセスメントデータの解析のための方法について学ぶ。								
授業計画 【第4回】	「栄養情報処理（データの解析①）」 アセスメントデータの解析のための方法について学ぶ。								
授業計画 【第5回】	「 栄養情報処理（データの解析②）」 アセスメントデータの解析のための方法について学ぶ。								
授業計画 【第6回】	「栄養情報処理（データの評価①）」 栄養教育計画に資するアセスメントデータの評価方法を学ぶ。								
授業計画 【第7回】	「 栄養情報処理（データの評価②）」 栄養教育計画に資するアセスメントデータの評価方法を学ぶ。								
授業計画 【第8回】	「アセスメントに基づく栄養教育の計画（応用編）」								
授業計画 【第9回】	「栄養教育案の作成（応用編）」								
授業計画 【第10回】	「栄養教育のための教材作成（応用編①）」 対象の課題解決のための教材を提供するための実習をする。								

授業計画 【第11回】	「栄養教育のための教材作成（応用編②）」 対象の課題解決のための教材を提供するための実習をする。
授業計画 【第12回】	「栄養教育の実施（応用編①）」 実際の対象者に向けた栄養教育の実施について実習する。
授業計画 【第13回】	「栄養教育の実施（応用編②）」 実際の対象者に向けた栄養教育の実施について実習する。
授業計画 【第14回】	「栄養教育の実施（応用編③特定保健指導）」 実際の対象者に向けた栄養教育（特定保健指導）の実施について実習する。
授業計画 【第15回】	「栄養教育の評価・まとめ」
授業の到達目標	集団の栄養・健康の課題をアンケート集計やコンピュータや栄養教育媒体を使ったデータ処理により見いだすことができるようになる【知識・理解の育成】。 集団の栄養・健康の課題をアンケート集計やコンピュータや栄養教育媒体を使ったデータ処理により見いだすことができるようになる【態度・志向性の育成】 【汎用的技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	次回の実習範囲について予習する（1時間）。
授業時間外学習【復習】	情報処理に必要な統計について関心を持ち、自分なりに知識と技術を復習すること（1時間）。
課題に対する フィードバック	実習全体を通じた課題レポートは評価後、返却及び解説をする。
評価方法・基準	以上の結果を総合して評価する。 1) 課題レポートの内容および提出状況 60点 2) グループ学習・実習等授業への取り組み 状況（実習態度、理由のない遅刻・早退 含む）40点
テキスト	『栄養教育論演習 第2版』岡崎光子・饗場直美 編著 健帛社（2310円 実習Ⅰ共通）
参考書	健康・栄養科学シリーズ『栄養教育論』丸山千寿子・足達淑子・武見ゆかり 編集 南江堂 『行動変容のための面接レッスン 行動カウンセリングの実践』足達淑子著 医歯薬出版 『ライフスタイル療法Ⅰ 第4版 生活習慣改善のための行動療法』足達淑子著 医歯薬出版 ほか適宜紹介する。
備考	管理栄養士として行政・病院・学校等で勤務した経験に基づき、実践的栄養教育に必要な知識や技術について講義を行う。 各ライフステージの対象者における健康栄養上の課題や課題解決のための栄養教育について、理論に加え、豊富な実例を交えた授業を行う。